

2010年5月20日

## 新車 CO2 平均排出量の削減幅 過去最大に JATO レポートが発表

- **欧州新車 2009 年度 1 キロメートル当たりの平均 CO2 排出量は 2003 年度からおよそ 20 グラム減の 145.9 グラムに**
- **2009 年の CO2 排出量 削減幅は過去最大**
- **新技術や税制、景気後退、ガソリン代の高騰、スクラップインセンティブなどが影響**
- **現在の削減率を維持すれば 2015 年の EU 目標値は達成可能見通し**

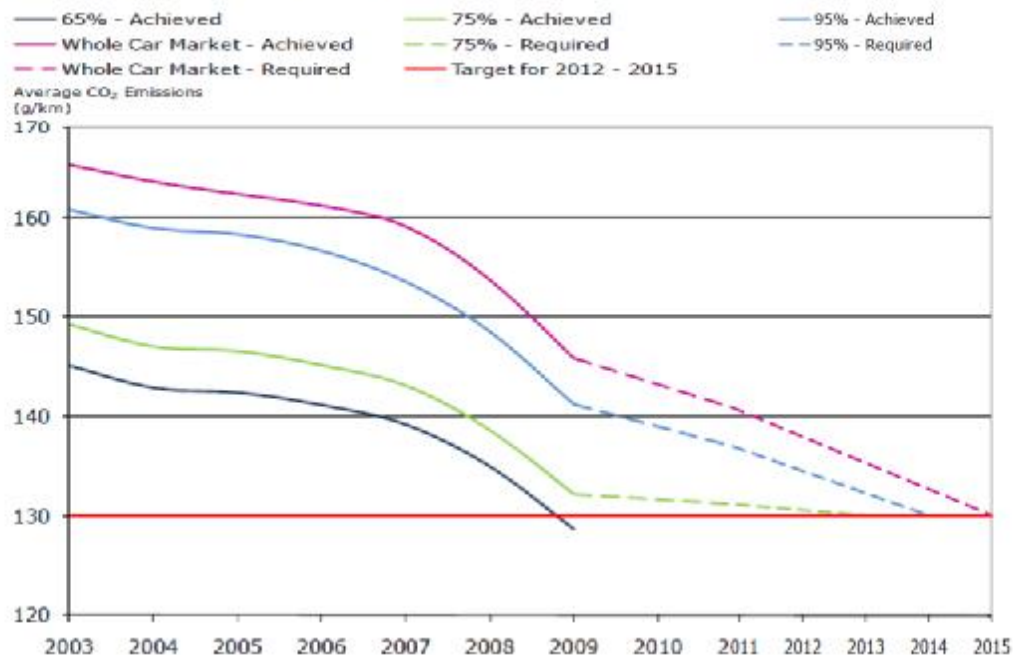
自動車市場情報を提供する JATO Dynamics 社は、欧州新車 CO2 排出量の加重平均値が以前より迅速に削減され、2015 年の EU 目標値達成にむけ順調に進捗していると発表いたしました。

2009 年度、新車 CO2 排出量 加重平均値の年間削減幅は過去最高となりました。低燃費車への需要の高まりや、数各国で実施された CO2 排出量ベースの税制制度の導入、また欧州全体で実施された、小型車や環境優良車を優遇するスクラップインセンティブなど複数の理由から、環境によい車の利用が奨励されたことが影響しました。

2009 年度、欧州新車における 1 キロメートル当たりの平均値は 145.9 グラムであり、JATO が欧州 CO2 排出量の調査を開始した 2003 年よりおよそ 20 グラム減少しています。さらに、調査対象となった 21 カ国で販売された全新車のうち、公式 CO2 排出量が 140 グラム以下の車の割合は 2003 年度 23%でしたが、2009 年度は約 50%に上昇しています。

JATO Dynamics 社のコンサルティング部門マネージャであるデイビッド・ディ・ジロラモは、「自動車業界が迅速に環境需要に対応したことが今回の大幅な削減幅に表れています。2003 年度に CO2 排出量 130 グラムを達成したのは全車両の 24%のみでしたが 2007 年度には 40%、2008 年には 51%、そして 2009 年には 69%にまで増加し、既に 2012 年の EU 目標値を上回っています（注 1）。高まる顧客需要に合わせ新車が大型化し、安全装備やその他装備が充実した状況を考慮すると、今回の成果の価値はさらに上がります。

## Average CO<sub>2</sub> levels over time



JATOによると、CO<sub>2</sub> 排出量の改善の要因は3つあります。

1. **車両改善** - ガソリンやディーゼルエンジンの燃費効率の改善、ハイブリッドパワーtrain、トランスミッション機能の向上、転がり抵抗低下タイヤ、空気抵抗の低減、アイドリングストップ、再生式充電システムなど。

上記の装備項目はモデルレンジやセグメント内の車両に個別に搭載されていますが、多くの製造メーカーでは上記装備の多数を組み合わせた、環境保護を意識した装備車両を提供しています。

デイビッド・ディ・ジロラモは次のように述べています。「迅速な進歩です。環境保護を意識した車が新車全体に占める割合は少ないですが、これらの車に搭載されている多くの装備がその他の主流である一般車に浸透しています。エンジンが軽量小型化し、燃費効率を上昇しているなのでこの傾向は今後継続するでしょう」。

2. **税制** - 環境優良車やテクノロジーへの需要を促進する、CO<sub>2</sub> 排出量に応じた課税制度や車両所得税を実施すると同時に、燃料に課税した国もあります。

世界的な原油価格高騰により燃料費が顕著に上昇したことが消費者の車両選択に、継続して影響を与えています。

3. **スクラップインセンティブ** — 2008 年後半から 2009 年にかけて欧州各国で実施されたスクラップインセンティブが小型車や高燃費車の購入を促進しました。低 CO2 排出そのものが消費者の車両購入の引き金となったケースもありました。

スクラップインセンティブを活用しない販売についても小型車へのシフトが進んでおり、B セグメントに属する車両が大きく増加しました。景気後退により家計が縮小していることから多くの消費者が他の要因よりも燃費効率を初めて重要視したことが影響しています。

最終的に 21 各国の、1 キロメートル当たりの新車平均 CO2 排出量が 2003 年度 165.3 グラムから 2008 年度 153.7 グラムに減少し、2009 年度はさらに改善し、145.9 グラムとなりました。

デイビッド・ディ・ジロラモは次のように続けています。「CO2 排出低下の技術が向上し、低 CO2 排出車両が増加したことから改善率が 2007 年より向上していることは注目に値します。対前年比の傾向を注目すると、現在のペースが維持できれば、2015 年までに 130 グラムまで削減するという EU の目標値は達成可能です」。

このデータは JATO Consult CO2 Report 2009 からの抜粋です。当レポート詳細は以下のリンクよりご確認いただけます。

[http://www.jato.com/Consult/Pages/JATO\\_Conult\\_CO2\\_GB.html](http://www.jato.com/Consult/Pages/JATO_Conult_CO2_GB.html)

以上

注 1 : 2008 年末に EU 欧州委員会は 1 キロメートル当たりの平均 CO2 排出量 130 グラムの達成を 2012 年に 65%、2013 年に 75%、2015 年に 100%と段階的に実施し、“補足的な方法”からさらに 10 グラムの削減を行い、結果として 120 グラムを達成する法案を可決しました。

## JATO Dynamics 社について

JATO は 1984 年に設立され、世界で最もタイムリーで正確な最新の自動車仕様装備、及び、価格、販売・登録台数、ニュース、インセンティブに関するデータを提供しています。 JATO は世界 40 カ国以上に拠点を持ち、独自の市場情報を提供しています。 JATO の顧客は、世界中の量産自動車メーカーであり、短期的な市場変動に対応するための情報と、長期的な開発計画や顧客ニーズに対応するための情報を提供しています。 JATO のデータは、MSN などの消費者向け自動車ポータルサイトでも利用されており、消費者が購入しようとするモデルの競合車に対する優位、不利な点を表示することができます。

JATO 社 Web サイト:[www.jato.com](http://www.jato.com)

本件に対するお問い合わせは下記までお願いします。

JATO Japan Limited

113-0024 東京都文京区西片 2-22-21 本郷 MKビル 2F

Tel: 03-6801-9551

Fax: 03-6801-9552

Email: [japan.inquires@jato.com](mailto:japan.inquires@jato.com)